

学校だより

◆学校教育目標「よく学ぶ たくましく 心やさしい 東っ子」



# ひがし

平成29年10月12日発行  
第15号  
伊豆市立修善寺東小学校  
TEL0558-72-0420

◇重点目標「いい目と心で 聞きます 伝えます 磨きます」～合言葉「進んで！」～

## 全国学力・学習状況調査の結果と考察



4月18日に6年生が行った全国学力・学習状況調査の結果と考察をお知らせします。下の表は、全国と静岡県 averages 正答率と本校6年生の結果を比較したものです。この調査の目的は、「各学校が児童の学力や学習状況の現状を把握し、子どもたちの学力向上のための取組みに生かしていくこと」にあります。本校でも全教職員で結果を分析し対策を考えました。各学年の日々の授業に生かすとともに、子どもたち一人一人の実態に応じたきめ細かな指導方法を工夫・改善し、学力向上に取り組んでいきます。

【県・全国の小学校平均正答率との比較】 %

	国語A	国語B	算数A	算数B
全国	74.8	57.5	78.6	45.9
静岡県	74	59	78	46
本校	◎	◎	◎	◎

◎両方を上回った ○どちらかを上回った △全国・県ともに下回った

### 【教科に関する調査の結果と考察】

- ★国語Aは、全国、県平均を上回りました。漢字の読みやことわざの問題で正答率が100%のものもありましたが、漢字を書く問題の1つ（参加たいしょう）の正答率が低かったです。算数で「線対称や点対称」を学習していたこともありますが、意味を考えながら適切な表記ができるよう日常的に漢字を使う機会を増やしながら、確実な定着を目指します。
- ★国語Bも、全国、県平均を上回りましたが、話す・聞く・書く力に比べ、**読む力に課題が見られました。**条件に合うように内容を整理して書く問題でも、指定された二つの条件そのものを読み取れていないための誤答も多かったです。また、話合いの中での「発言の意図」を捉える問題の正答率が低かったです。文章の一部にとらわれることなく、前後の関係なども考えながら、丁寧に正確に読み取る力を伸ばしていきたいです。国語科に限らず、いろいろな文章や資料に数多く出会わせるとともに、発言の内容だけでなく意図を考えながら話し合うなどの学習を積み上げていきます。
- ★算数Aは、良好な結果が出ています。基礎・基本の力が定着してきているのが分かります。
- ★算数Bも、全体としては全国、県平均を上回りましたが、問題によっては下回ったものや無回答のものもあり、個人差が大きかったです。**問題解決のために必要な情報を正確に読み取り、式の中の数値の意味を表と関連付けたり、グラフの特徴を理解し目的に応じて選択したりする力に課題があります。**授業はもちろん日常生活の中でも、情報を正確に読み取る力や、表やグラフを活用する力を伸ばせるよう、繰り返し指導を重ねていきます。



## 【児童質問紙調査の結果と考察】

★**生活習慣**（朝食を毎日食べているか、同じくらいの時刻に起きているか）と**規範意識**（学校のきまりを守っているか、友達との約束を守っているか、いじめはどんな理由があってもいけないことと思うか等）については、全国平均に比べてきわめて高い結果でした。また、**学習習慣**（家で学校の宿題をしているか等）や**家の手伝い、地域の行事への参加についても高い評価**となり、ご家庭や地域と連携しながら進めている「凡事徹底」を基盤にした取組みが、確実に成果となって表れていると思います。



★自尊感情の領域は、今年度もやや低い結果となりました。特に、「自分にはよいところがあると思うか」では、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた子の割合が、全国平均より低かったのが気になります。「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦しているか」等の設問にも、「当てはまる」と自信をもって答えられない傾向が強く、自分のよさを実感できるような取組みを意識的にしていく必要を感じます。

★**テレビ・ビデオ・DVDの試聴が「2時間以上」と答えた子が65%、テレビゲームを「4時間以上する」と答えた子が15%**、さらに、携帯やスマホで通話やメール、インターネットを「4時間以上する」と答えた子もいました。そして、「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めているか」では、「あまりしていない」「全くしていない」と答えた子の割合が65%を占めていました。ぜひ、今一度約束の確認をお願いします。また、「読書は好きか」については、**肯定的な解答が全国より低く、1日あたりの読書時間も短かった**です。ノーメディアデーや「生活はなまるカード」の取組みをさらに充実させ、生活時間の使い方について改善を図るとともに、読書への興味関心を高めていきたいです。



★「新聞を読んでいますか」では、**ほとんどまたは全く読まない子の割合が9割**でした。また、「地域や社会で起きている問題や出来事」への関心、「ボランティア活動への参加」についても全国平均を下回っています。新聞記事や社会の出来事にも関心をもてるようご家庭でも話題にいただき、視野を広げるとともに情報を正しく読み取る力にもつなげていきたいです。



★「相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝える」ことや「学活や道徳での話し合い活動」については肯定的な解答がほとんどで、重点である「聞く・伝える」取組みが着実に浸透していることを感じました。また、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と答えた子が多く、学習へ向かう姿勢のよさもうかがえました。「授業の内容はよく分かるか」では、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた子の割合は、国語で85%、算数で90%、「先生は、分かるまで教えてくれるか」では、全員が「当てはまる」と答えています。「分かる授業」を目指し、さらに工夫していきます。

分析をとおして、東小で進めている「凡事徹底による生活や学習の基盤づくり」が着実に根付き、子どもたちの確かな学力につながっていることを実感しています。また、「東小家庭教育5つのお願い」「東っ子学習の手引」「生活はなまるカード」等にご協力いただきながら、学校と家庭が同一歩調で取り組んでいることが東小の強みであることを再認識しました。「生活」が「学力」を支えます。10月に入り今年度も後半戦を迎えましたが、「当たり前」を大切に、さらに連携を深めながら子どもたちの学ぶ力を育てていきたいと思っています。